

図書館員のひみつの本棚 第 226 回

今月は、世界の“納豆”についての本を紹介します。

『世界の納豆をめぐる探検』 高野 秀行／文・写真, スケラッコ／絵 福音館書店(2024 年)
¥1300(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★★☆ 小高学年★★★★ 中学生★★★★

高校★★☆ 一般★★☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

アジアやアフリカにも納豆と同じような食べ物があった！

「誰も行かないところへ行き、誰もやらないことをやり、誰も書かない本を書く」がモットーのノンフィクション作家の高野秀行さんが、アジアやアフリカに行って取材した、納豆にそっくりな食べ物を紹介する。大豆を発酵させた後、乾燥させてせんべい状にしたミャンマーの“トナオ”、アフリカのブルキナファソにあるバオバブの種からつくるもの、などなど。世界の“納豆”だけでなく、それらを使った料理も紹介する。

また、日本の納豆の作り方や、歴史、起源なども解説されている。

<子どもに手渡す時のポイント>

納豆について興味が出たら、図書館には納豆に関する本、納豆の作り方の本などがありますので、ぜひ借りてみて下さい。

また、同じ著者による大人向けの本「謎のアジア納豆」、「幻のアフリカ納豆を追え!」(新潮社)に現地取材の様子が詳しくのっています。納豆を食べた著者の感想だけでなく、納豆を探し出す過程で触れ合った人や町の様子も書かれていて、その土地の雰囲気をもっと感じられるので、大人向けの本が読めそうな子には、ぜひ勧めてみてください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。